

広報資料

資料提供
平成22年2月16日(火)
長浜市長浜城歴史博物館
担当：橋本・太田・田上
電話(直通)63-4611

企画展

# 姫様の雛人形

～ 井伊直弼の娘・砂千代の婚礼道具展 ～

砂千代は彦根藩主井伊直弼の七女で、長浜御坊大通寺住職の内室となった人物です。父直弼は、砂千代がまだ4歳であった万延元年(1860)の奇しくも3月3日の桃の節句に、桜田門外にて暗殺されます。砂千代はその前の安政5年(1858)に大通寺第九代住職の能満院達位と婚約しますが、その四年後の文久2年(1862)に能満院はわずか27歳で病没してしまいます。父親と婚約者を相次いで失った砂千代でしたが、その後明治5年(1872)には同じ大通寺の第十代住職靈寿院巖澄と婚儀を結び、大通寺の内室となります。

大通寺には、砂千代の調度品とされる品々が61点あり、その中には化粧道具や文房具、遊戯具、衣裳などさまざまな品が伝えられています。今回の展示では、砂千代の婚礼調度の中から雛人形と雛道具を展示するほか、ゆかりの調度品など12点を公開します。

記

1. 会 期 : 平成22年2月17日(水)から3月17日(水)まで
2. 開館時間 : 午前9時から午後5時まで(入館は午後4:30まで)
3. 場 所 : 長浜城歴史博物館3階展示室
4. 入 館 料 : 個人 大人(高校生以上)400円 / 小・中学生 200円  
( \* 長浜市・米原市在住の小中学生は無料でご入館いただけます )  
団体 大人(高校生以上)320円 / 小・中学生 160円  
( \* 団体は20名以上です )

以上

## 【展示予定品】

### 1. 古今雛（こきんびな） 1対

像高 男雛：34.8cm 女雛：30.5cm

明和年間（1764～71）頃から流行し始めた雛人形で、今日の雛人形に連なる系統。男雛は衣冠束帯（いかんそくたい）姿で、烏帽子をかぶり、手に笏をもち、腰に太刀を差す。女雛はお多福顔で、天冠をかぶり十二単をまとう。衣裳には、色系で豪華な刺繍が施されています。

### 2. 五人囃子（ごにんばやし） 5 軀

大鼓像：像高 29.8cm

能楽になぞらえた五人囃子。謡・笛・小鼓・大鼓・太鼓の5人の童子が並ぶ。能の囃子方にならって素袍（すおう）の長袴を着け、色系の刺繍で丁寧に仕上げられています。

### 3. 雛道具（ひなどうぐ） 6点

砂千代の雛道具セット。箆筒（たんす）、挟箱（はさみばこ）、長持（ながもち）、膳碗類、飲食具には黒漆塗を施し、牡丹唐草文を配する。背景を飾る雛屏風6曲1双は、源氏絵と呼ばれる王朝風俗画。いずれもミニチュアでありながら、実物と遜色ないつくりになっています。

### 4. 黒漆塗牡丹唐草蒔絵 元結箱・油桶（くろうるしぬりぼたんからくさまきえもとゆいばこ・あぶらおけ） 1式

元結箱（縦15, 1×横13, 1×高さ16, 3cm）油桶（口径6, 5×高さ9, 7）

元結箱は、整髪後に髻（もとどり）を結う際に用いる元結などを納めた箱で、油桶は整髪に用いる油を入れるものです。いずれも表面は黒漆塗りに牡丹唐草文の平蒔絵が金で施されています。元結箱の中には金地と銀地の紙製の元結が油桶と共に納められています。

### 5. 黒漆塗牡丹唐草蒔絵 耳盥・台輪（くろうるしぬりぼたんからくさまきえみみだらい・だいわ） 1式

耳盥（口径27, 4×胴径29, 6cm）・台輪（口径27, 4×高さ20, 6cm）

お歯黒染めに用いる道具で、盥（たらい）の上に渡金（わたしがね）をわたし、歯黒次（はぐろつぎ）と童子（しょうず）でお歯黒の墨である鉄漿（かね）を溶きます。附子箱にはお歯黒の原料である五倍子粉（ふしのこ）を入れました。

**6．黒漆塗牡丹唐草蒔絵 櫛台（くろうるしぬりぼたんからくさまきえくしだい）**

1基（縦24,7×横34,9×高さ35,3cm）

化粧道具を収めた台で、引出しの中には剃刀箱（かみそりはこ） 黛（まゆずみ）を入れる容器の捏墨入（こねずみいれ） 整髪の鬢水（びんみず）を入れた小判形箱、白粉（おしろい）合子、小型の耳盥（みみだらい） 白粉刷毛（おしろいはけ） 紅筆、三つ櫛（くし）などが入っています。

**7．黒漆塗松竹梅蒔絵 香道具（くろうるしぬりしょうちくばいまきえ こうどうぐ）**

1組 外箱（縦19,3×横24,6×高さ20,2cm）

十種の香（こう）を聞き分けて賞翫（しょうがん）し、その当否を楽しむ香道具の一式。箱類や盆にはいずれも黒漆地に松竹梅の蒔絵が金銀で描かれており、華やかな婚礼調度の品です。

**8．歌留多（かるた） 1組**

箱（縦24,0×横14,6×高さ16,2cm）

黒漆塗りの箱の内側を四つに仕切り、帙（ちつ）で包まれた歌留多を納めています。歌留多は古今和歌集を題材としたもので、絵・文字ともに手書きである。絵札は274枚、文字札は276枚あります。

**9．黒漆塗牡丹唐草蒔絵鼻紙台（くろうるしぬりぼたんからくさまきえはなかみだい）**

1基（縦19,9×横26,7×高さ20,4cm）

鼻紙や楊枝（ようじ）などの小物を整理して入れ、手近に置いておく台。全体に黒漆を塗り、金の平蒔絵で牡丹唐草文を配しています。引出の取手は銀製で、座金（ざがね）にも牡丹をあしらっています。

**10．溜塗葦鶴蒔絵鼻紙台（ためぬりあしつるまきえはなかみだい） 1基**

（縦21,5×横35,1×高さ25,0cm）

全体を置棚風にした鼻紙台で、端反りの天板の下に食い違う上下の棚板を配し、その下に二段の引出を設けています。棚の表面は朱溜塗の肌、葦の間をたわむれれる鶴の群れを金の平蒔絵で描く。鶴の羽には金銀の箔を置く。引出の取手にも鶴があしらわれています。

**11．黒漆塗牡丹唐草蒔絵柄鏡箱・鏡立（くろうるしぬりぼたんからくさえがらがみばこ・かがみたて） 一式**

（柄鏡大 径30,7×全長41,1cm 柄鏡小 径18,4×全長27,7cm 鏡立 高さ71,0×幅33,4cm）

柄鏡を入れる大小の箱とその鏡立。ともに黒漆を塗り金の蒔絵で牡丹唐草文を施しています。

**12. 黒漆塗牡丹唐草蒔絵嗽椀・嗽台（くろうるしぬりぼたんからくさまきえうがいわん・うがいだい）**

（嗽椀 口径 14, 4 × 高さ 11, 3 c m 嗽台 径 17, 3 × 高さ 15, 1 c m）

お歯黒染めに用いるうがい用の椀とその台です。

【展示予定資料写真】



1. 古今雛



2. 五人囃子



3. 雛道具



4. 黒漆塗牡丹唐草蒔絵元結箱・油桶



5. 黒漆塗牡丹唐草蒔絵耳盥・台輪



6. 黒漆塗牡丹唐草蒔絵櫛台



7. 黒漆塗松竹梅蒔絵香道具



8 . 歌留多



9 . 黒漆塗牡丹唐草蒔絵鼻紙台



10 . 溜塗葦鶴蒔絵鼻紙台



11 . 黒漆塗牡丹唐草蒔絵柄鏡箱・鏡立



12 . 黒漆塗牡丹唐草蒔絵嗽碗・嗽台